

南公民館及び大根公民館の整備の方向性について（案）

令和 5 年 4 月 10 日

生涯学習課・行政経営課

秦野市公共施設再配置計画第 2 期基本計画において、公民館については、「近隣の学校の更新がある場合は、耐用年数の残存期間、維持補修費用の見込み等について検証し、複合化を検討」との方向性を示しています。

南公民館及び大根公民館は、エレベーター整備が無いことから高齢者や身障者に対する利便性が低く、老朽化が進み更新年度も近づいていることから、整備の方向性について、以下のとおりとするものです。

1 南公民館の整備の方向性について

- (1) 公共施設再配置計画上の更新年度 2030 年度（令和 12 年度）

＊公共施設保全計画上の更新年度も同じ

- (2) 整備の方向性

次の 2 案について、実現可能性を確認の上、具体的な整備内容を検討するものです。

ア 第 1 案

南小学校及び南中学校の整備時期は、公共施設保全計画上の耐用年数を考慮し、2040 年代を想定していますが、学校の整備前に南公民館の更新年度が到来することから、令和 12 年度までに現在の敷地において単独の公民館として整備するものです。しかし、将来的に学校との複合化を視野に、使用期間を考慮し、リース方式による整備を検討します。また、学校との複合化がされた後は、原則撤去・解体とするものです。

イ 第 2 案

南小学校及び南中学校の一体的整備手法を確認しながら、園児、児童生徒数の推移を踏まえ、南小学校の敷地の一部を活用した整備を検討するものです。

- (3) その他

南公民館は、駐車スペースが狭いことが課題でしたが、隣接する J A はだの倉庫敷地を活用した駐車スペースの確保の検討を進めるものです。

2 大根公民館の整備の方向性について

- (1) 公共施設再配置計画上の更新年度 2039 年度（令和 21 年度）

* 公共施設保全計画上の更新年度は 2059 年度（令和 41 年度）

- (2) 整備の方向性

大根小学校及び大根中学校の整備時期について、公共施設保全計画上の耐用年数を考慮し、2030 年代前半を想定していることから、学校施設の一体的整備に合わせて、学校施設に大根公民館の機能を複合化していくものです。